

特集 | みんなで農業

問い合わせ先 農政課地域経営係
(☎40-7102)



弘前市のりんご産業は、市の重要な基幹産業である一方で、農繁期を中心に人手不足が課題となっています。

こうした背景の中、市では、近年活発に行われている体験型旅行や企業等の社会貢献による援農活動の取り組みや、障がい者等が農業分野で働く農福連携の取り組みを行っています。

今回の特集では、さまざまな賞を受賞した、これらの取り組みを紹介します。

受け入れ農家さんとツアー参加者の皆さん



援農ボランティアツアー 令和5年度の実施状況

実施期間 5日間(10/15・22・29、11/4・12)
参加者 全国から282人!
受け入れ農業者 29人



弘前駅に集合するツアー参加者の皆さん



ひろさき援農プロジェクト (援農ボランティアツアー)

援農ボランティアツアー

市では、農繁期に人手不足となる農業者を支援するため、アサヒビール(株)とニッカウヰスキー(株)からの寄付金(企業版ふるさと納税)を財源に、官民連携で弘前市のりんご農家さんの農作業を手伝う援農ボランティアツアーを実施しています。令和5年度に実施した、(株)JTB(ツアー催行業務を担当)を含めた4者連携の取り組みが評価され、県内で初めて2つの賞を受賞しました。



受け入れ農業者
小林 政貴さん

令和5・6年にボランティアの受け入れをしましたが、参加者の皆さんは、初めてのりんご作業でも慣れるのが早く、戦力になってくれました。手伝わってもらえて大変ありがたいです。また、参加者を受け入れたことで、他県や他産業の人と関わることができたのでいい刺激になりましたし、弘前市のりんごをPR出来る良い事業だと思うので、これからも援農ボランティアを継続してほしいと思います。



ニッカウヰスキー(株)
弘前工場長 瀧瀬 生さん

りんごの風味を生かした弊社のシードルには地域のりんごが不可欠です。りんご農家さんを支援したいとの思いが今回の援農につながりました。活動を通じて社員のりんごや製品への想いも深くなりました。昨年はシードル事業創業から70年目を迎えました。地域に根差し、次の70年、そしてそれ以降もりんごの製品を弘前の地で作り続けたいです。



地方創生応援税制大臣表彰
左…伊東良孝・内閣府特命担当大臣



ディスカパー農山漁村の宝アワード優秀賞受賞
左…林良博 有識者懇談会座長

受賞トロフィー▶